

ERP分野での提案力を高め、BtoB顧客の業務改革とDX推進を支援
AI・DXサービス強化を通じ、スマートビジネス領域での成長を加速

株式会社シナプスイノベーションの株式取得（子会社化）を完了

シャープは、本日3月23日、株式会社シナプスイノベーション（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：藤本 繁夫、以下、シナプス社）の全株式の取得を完了し、同社を子会社化しました。ERP（Enterprise Resource Planning）分野での提案力を高めるとともに、AI・DXサービス強化を通じ、スマートビジネス領域でのさらなる成長を目指します。

当社は、2025年に策定した中期経営計画において「暮らす」と「働く」領域におけるブランド事業の強化を成長戦略に位置付けています。「働く」の事業領域では、人手不足やコスト上昇など企業を取り巻く課題が深刻化する中、生成AIを活用した業務革新が進むなど、事業環境やニーズは大きく変化しています。

当社BtoB事業の中核を担うスマートビジネスソリューション事業本部においては、「オフィス」はもとより、「パブリック」や「リテール」、「ロジスティクス／ファクトリー」を重点事業領域に掲げています。当社が強みとするハードウェアを起点に、ITサービスと組み合わせたスマートビジネスの強化により、「働く現場」に貢献することを目指しています。シナプス社は、企業の生産・物流・販売などの基幹業務を一元的に管理するITシステムであるERP分野を中心にさまざまなソリューションを展開しており、中でも生産・販売管理におけるERPプラットフォームに強みを有しています。ERP導入から運用までを一貫して支援する高いシステムインテグレーション力により、多くの企業のDXに貢献しています。

今般、当社がシナプス社を傘下に迎えることで、「オフィス」事業領域においては、複合機をはじめとする各種オフィス向け商材にシナプス社のERPを中心とするITサービスを組み合わせることで、提案力の強化を図ります。調達、受発注、会計、在庫管理など、部門をまたがる一連のバックオフィス業務においても、データ連携・一元管理を実現します。コンサルから導入後の運用まで一貫してサポートすることで、業務プロセスの効率化やDX促進に貢献します。

「パブリック」「リテール」領域においては、決済や在庫管理、販売管理などに係る業務をシステム面から支援します。POSシステムや周辺機器とERPの連携により、調達から販売、在庫管理までの情報を一元的に把握・管理できる仕組みを提供します。現場の業務負担を軽減するとともに、データに基づく店舗運営の高度化につながる提案を推進します。また、「ロジスティクス／ファクトリー」領域においては、設備点検や稼働管理などを通じ、製造や物流の現場データとERPを連携することで、業務の効率化や自動化を支援。ヒューマンエラーの低減や省人化、作業時間の削減に貢献します。

今後、当社はシナプス社との連携を通じ、両社の商材のみならず、顧客基盤や販売チャネルを相互に活用したクロスセルの強化にも取り組みます。あわせて、当社が長年にわたる複合機事業で培った国内外の販売・サポート体制を基盤に、グローバルでの事業強化を推進します。さらに、フィジカルAIや量子アニーリング技術などを活用し、省人化や省エネルギー化などの社会課題の解決に資する新たなソリューション創出を目指してまいります。

■ 株式会社シナプスイノベーションの概要

- 所在地：大阪府大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル
- 代表者：代表取締役社長 藤本繁夫
- 事業内容：SaaS ERPプラットフォーム（UM SaaS Cloud）の企画、開発、導入、
その他サービス一式
- 設立：1984年12月
- 資本金：334百万円

<シャープについて>

シャープは、110年以上にわたり、エレクトロニクスを中心に、多くの世界初・業界初の革新的な製品や技術を開発してきました。経営信条「二意専心 誠意と創意」に基づき、コーポレートスローガン「ひとの願いの、半歩先。」を定め、人々の「暮らす」と「働く」のあらゆるシーンに寄り添う独創的なモノやサービスを通じ、「新しい文化」を創造する企業を目指しています。

【 ウェブサイト 】 <https://corporate.jp.sharp/> (画像ダウンロード <https://corporate.jp.sharp/press/>)
【 本 社 】 〒541-8522 大阪府大阪市中央区久太郎町2丁目1番25号